

学術論文	・論文（査読のあるもの。学会などの抄録などは除く） ・本学学生が著者に含まれているものは赤字で記載 ・2007 年以降（個別）と以前（2006 年までの合計）を分けて記載
(論文)	
1	K. Moriwaki, H. Komaba, S. Noto, <u>S. Yanagisawa</u> , T. Takiguchi, H. Inoue, T. Toujou, M. Fukagawa, H.E. Takahashi. Cost-effectiveness of alendronate for the treatment of osteopenic postmenopausal women in Japan. Journal of Bone and Mineral Research, Volume 28, Issue 2, 395-403, 2013.
2	Hiroko Nagase, Kensuke Moriwaki, Maki Kamae, <u>Shinichiro Yanagisawa</u> , Isao Kamae. Cost-Effectiveness Analysis of Oseltamivir for Influenza Treatment Considering the Virus Emerging Resistant to the Drug in Japan. Value in Health,12(Supplement 3), S62-S65,2009.
3	G Chuluunkhuu, N Nakahara, <u>S Yanagisawa</u> , I Kamae. The efficacy of reboxetine as an antidepressant: a meta-analysis of both continuous (mean HAM-D score) and dichotomous (response rate) outcomes. Kobe J.Med.Sci.,Vol.54,No2, 149-158, 2008.
4	M Otsuka, Y Akizuki, K Otsuka, <u>S Yanagisawa</u> , I Kamae, James A Jorgenson. A Comparison of the Technical Quality of American and Japanese Ranitidine Tablets. Dissolution Technologies, Vol.14(3),22-23.2007.
	2006 年以前 24 報

著書	著書（2007 年以降（個別）と以前（2006 年までの合計）を分けて記載。）
(著書)	
1	医療技術の経済評価と公共政策 鎌江伊三夫、林良造、城山英明監修 柳澤振一郎他 じほう、2013 ISBN978-4-8407-4373-0
2	詳説 薬剤経済学 第 2 版 恩田光子、砂川雅之、森脇健介、柳澤振一郎 京都廣川書店、2013 ISBN978-4-906992-17-1
3	薬学用語辞典 日本薬学会編 柳澤振一郎他 多数 東京化学同人、2012 ISBN978-4-807906-77-2
4	ヘルスサイエンスのための医薬経済学用語集 鎌江伊三夫監修 柳澤振一郎他 医薬出版センター、2011 （翻訳）
5	詳説 薬剤経済学 恩田光子、砂川雅之、森脇健介、柳澤振一郎 京都廣川書店、2011 ISBN978-4-901789-78-3
6	スタンダード薬学シリーズ 9 薬学と社会 日本薬学会編 柳澤振一郎他 東京化学同人、2010 ISBN978-4-8079-1478-4
7	公衆衛生学Ⅰ．Ⅱ． 西郷勝康、柳澤振一郎、川井真好、炬口真理子 近大姫路大学教育 学部通信教育課程、2010
8	薬学生のための薬剤経済学 柳澤振一郎他 廣川書店 2009 ISBN978-4-567-40150-0
9	臨床研究の方法論とマネジメント 柳澤振一郎他 神戸大学大学院医学研究科 CRESP 企画運営委員会、2009 ISBN978-4-9904937-0-7
	2006 年以前 1

学会発表等	・ 2007 年以降における招待講演演者やシンポジスト ・ 2007 年以降における国際学会（国内外での開催を問わない）のうち<u>発表者</u>であるもの（共同研究者の場合は除く） ・ 2007 年以降における<u>本学学生</u>が<u>発表者</u>となっている学会発表（学生が共同研究者の場合は除く）
（招待講演） 1	2007 年以降なし
（シンポジスト） 1	2007 年以降なし
（国際学会）	2007 年以降なし
（学生発表）	なし

助成金・特許	・2007 年以降に交付された競争的資金（研究助成金の名称と種別、課題、交付年度、代表者・分担者の別） ・2007 年以降の特許
(競争的資金)	
1	外務省 国際協力局 国際保健政策室 委託研究「医療技術評価の現状と我が国支援策に関する基礎調査」平成 24 年度 分担研究者
(2)	(厚生労働科学研究費補助金 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「薬学教育 6 年制に対応した国家試験の円滑な実施のための問題作成の在り方に関する研究」平成 22 年度 研究協力者)
(特許)	なし

社会活動	2007 年以降の社会における活動等（学会や公的機関の委員や役職など。ただし、学内や学園内の委員・役職などは除く） 2007 年以降のその他の社会活動（教育機関や公的機関における講演依頼など）
(社会活動)	臨床経済学研究会・ISPOR 日本部会 理事 平成 17 年 7 月～平成 25 年 3 月 国際医薬経済・アウトカム研究学会（ISPOR）日本部会 評議員 平成 25 年 4 月～現在に至る

賞	2007 年以降に受賞した賞
	なし